

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月30日

上場取引所 名

上場会社名 東海エレクトロニクス株式会社  
 コード番号 8071 URL <http://www.tokai-ele.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 大倉 慎  
 (氏名) 森田 誠

TEL 052-261-3211

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	9,444	1.5	145	24.9	148	19.3	64	39.7
26年3月期第1四半期	9,300	△6.8	116	△40.4	124	△34.0	46	△51.9

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 88百万円 (△41.6%) 26年3月期第1四半期 151百万円 (581.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	6.02	5.95
26年3月期第1四半期	4.32	4.27

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	18,341	10,607	57.6
26年3月期	18,367	10,616	57.6

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 10,569百万円 26年3月期 10,577百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	8.00	—	9.00	17.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,000	△0.8	400	△6.9	410	△8.4	230	2.3	21.40
通期	40,000	0.8	1,000	1.4	1,030	0.3	580	7.6	53.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	11,801,316 株	26年3月期	11,801,316 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	1,052,055 株	26年3月期	1,051,855 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	10,749,411 株	26年3月期1Q	10,725,294 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1)経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げの影響が懸念されておりましたが、その落ち込み幅は徐々に緩和し駆け込み需要の反動も和らぎつつあります。また、政府の経済政策、日本銀行の金融政策により円安・株高傾向が継続し、企業収益の改善や所得環境・雇用情勢の好転により、全体として緩やかに回復していくことが期待されております。

このような経済環境のもと、当社グループは新たな中期経営計画(Global Action 2016 : GA16)を策定しました。GA16では、「1. Global Partnerとしての体制構築 ～技術商社として、かけがえのないパートナーに～」、「2. 自動車、環境・エネルギーそして医療など社会・生活基盤への一層の注力」をテーマに、更なる成長を目指し世界レベルでのビジネス拡大を図るとともに、技術商社として営業・技術・品質面の体制強化に取り組んでまいります。

当社グループの業績における自動車分野ビジネスについては、マイナス面では、国内において消費税増税の影響により一時的な落ち込みがあったことに加え、海外では中華圏においてお客様の在庫調整により受注が低調となりましたが、プラス面では、北米における自動車生産が引き続き好調に推移しております。情報通信分野ビジネスについては、中華圏においてモバイル機器等のお客様の中国生産の縮小に伴う受注減少などがありましたが、東南アジア圏においてはOA機器等の生産移管が進んだことから堅調に推移しました。また、FA・工作機械分野ビジネスについては、中国市場での回復に加え、国内設備投資も回復しつつあり堅調に推移しました。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は94億4千4百万円(前年同期比1.5%増)、営業利益1億4千5百万円(前年同期比24.9%増)、経常利益1億4千8百万円(前年同期比19.3%増)、四半期純利益6千4百万円(前年同期比39.7%増)となりました。

## ○デバイス・ソリューション関東・甲信越カンパニー

自動車分野においては、電気自動車(EV)用の電子部品の新規案件の立ち上がりがあったことに加え、情報通信分野においても、お客様の新製品の生産増加に伴い販売が増加したことなどにより、売上高は11億6千7百万円となり前年同期に比べ8.4%の増加となりました。

## ○デバイス・ソリューション中部・関西第1カンパニー

消費税増税の反動により自動車分野や住宅設備関連において一部影響があったものの、FA・工作機械分野においては設備投資需要が緩やかに回復しつつあることに加え、中国市場向けの在庫補充などにより販売が増加した結果、売上高は29億3千3百万円となり前年同期に比べ6.4%の増加となりました。

## ○デバイス・ソリューション中部・関西第2カンパニー

自動車分野において、消費税増税の反動により自動車生産台数が前年同四半期累計期間と比較して縮小されたことに伴い需要が一時的に落ち込んだことから、売上高は22億2千8百万円となり前年同期に比べ4.0%の減少となりました。

## ○オーバーシーズ・ソリューションカンパニー

自動車分野においては、北米における自動車生産の増加に伴う受注が堅調に推移しました。情報通信分野においては、東南アジア圏へOA機器等の生産移管が進んだことから東南アジア地区は堅調に推移しましたが、中華圏でのモバイル機器等の関連部品販売が低調であったことから、売上高は26億7千2百万円となり前年同期に比べ1.9%の減少となりました。

## ○システム・ソリューションカンパニー

消費税増税の反動の影響により生活環境機器の受注が落ち込みましたが、半導体設備向け機器及び太陽光発電システム機器の受注増加などにより堅調に推移したことから、売上高は4億4千2百万円となり前年同期に比べ5.3%の増加となりました。

(2)財政状態に関する説明

資産・負債・純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は183億4千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ2千6百万円の減少となりました。主な要因は、たな卸資産が4億4千4百万円増加したものの、現金及び預金が2千8百万円、売上債権が3億9千8百万円、資産の部のその他に含まれている繰延税金資産が5千6百万円減少したことなどによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は77億3千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ1千8百万円の減少となりました。主な要因は、仕入債務が3億5千8百万円増加したものの、未払法人税等が3億2千万円、賞与引当金が7千万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は106億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円の減少となりました。これは増加要因として、四半期純利益6千4百万円の計上に加え、その他有価証券評価差額金が5千1百万円増加しましたが、減少要因として配当金の支払9千6百万円、為替換算調整勘定が2千7百万円減少したことなどによるものであります。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年4月28日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,651,275	1,622,887
受取手形及び売掛金	9,602,501	9,207,285
電子記録債権	609,165	605,593
たな卸資産	2,259,932	2,704,917
その他	283,584	210,565
流動資産合計	14,406,459	14,351,249
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,929,593	1,929,593
その他(純額)	961,137	942,680
有形固定資産合計	2,890,730	2,872,274
無形固定資産		
133,313		125,181
投資その他の資産		
投資有価証券	597,481	672,341
その他	339,606	320,133
投資その他の資産合計	937,088	992,474
固定資産合計	3,961,132	3,989,929
資産合計	18,367,591	18,341,179
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,435,596	6,794,507
未払法人税等	363,230	43,041
賞与引当金	173,525	102,830
役員賞与引当金	94,410	29,040
その他	276,051	352,999
流動負債合計	7,342,813	7,322,418
固定負債		
退職給付に係る負債	335,610	334,971
その他	73,108	76,020
固定負債合計	408,719	410,992
負債合計	7,751,533	7,733,411
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,075,396	3,075,396
資本剰余金	2,511,009	2,511,009
利益剰余金	6,004,264	5,972,252
自己株式	△414,130	△414,225
株主資本合計	11,176,539	11,144,432
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	199,622	250,891
土地再評価差額金	△663,414	△663,414
為替換算調整勘定	△135,339	△162,790

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
その他の包括利益累計額合計	△599,130	△575,313
新株予約権	38,649	38,649
純資産合計	10,616,058	10,607,768
負債純資産合計	18,367,591	18,341,179

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	9,300,549	9,444,069
売上原価	8,259,373	8,327,571
売上総利益	1,041,176	1,116,497
販売費及び一般管理費	925,062	971,441
営業利益	116,113	145,056
営業外収益		
受取利息	249	212
受取配当金	4,333	5,419
仕入割引	3,123	3,428
その他	4,745	1,030
営業外収益合計	12,451	10,090
営業外費用		
支払利息	223	—
売上債権売却損	24	—
為替差損	3,541	6,315
その他	1	1
営業外費用合計	3,790	6,316
経常利益	124,774	148,830
税金等調整前四半期純利益	124,774	148,830
法人税、住民税及び事業税	16,754	47,546
法人税等調整額	61,673	36,549
法人税等合計	78,427	84,096
少数株主損益調整前四半期純利益	46,347	64,733
四半期純利益	46,347	64,733

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	46,347	64,733
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,174	51,268
為替換算調整勘定	80,062	△27,450
その他の包括利益合計	105,237	23,817
四半期包括利益	151,584	88,551
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	151,584	88,551
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					計
	デバイス・ソリューション 関東・甲信越 カンパニー	デバイス・ソリューション 中部・関西第 1カンパニー	デバイス・ソリューション 中部・関西第 2カンパニー	オーバーシーズ・ソリューション カンパニー	システム・ソリューション カンパニー	
売上高						
外部顧客への売上高	1,076,750	2,757,378	2,321,456	2,724,534	420,429	9,300,549
セグメント間の内部 売上高又は振替高	397,685	82,416	192	58,608	9,790	548,692
計	1,474,436	2,839,795	2,321,648	2,783,142	430,219	9,849,242
セグメント利益又は損失(△)	65,224	57,400	121,279	21,762	△17,197	248,468

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	248,468
セグメント間取引消去	△16,488
全社費用(注)	△115,866
四半期連結損益計算書の営業利益	116,113

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、営業体制の強化を目的とした組織変更に伴い、報告セグメントの一部を変更しております。従来の報告セグメントでは、「デバイス・ソリューション中部・関西第1/第2カンパニー」の1区分としておりましたが、「デバイス・ソリューション中部・関西第1カンパニー」、「デバイス・ソリューション中部・関西第2カンパニー」の2区分に変更しております。

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	デバイス・ソリューション 関東・甲信越 カンパニー	デバイス・ソリューション 中部・関西第 1カンパニー	デバイス・ソリューション 中部・関西第 2カンパニー	オーバーシーズ・ソリューション カンパニー	システム・ソリューション カンパニー	計
売上高						
外部顧客への売上高	1,167,480	2,933,163	2,228,017	2,672,591	442,817	9,444,069
セグメント間の内部 売上高又は振替高	386,657	95,846	6,877	30,978	54,781	575,140
計	1,554,137	3,029,009	2,234,894	2,703,569	497,598	10,019,209
セグメント利益又は損失(△)	99,002	82,694	150,105	6,254	△22,237	315,819

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	315,819
セグメント間取引消去	5,156
全社費用(注)	△175,919
四半期連結損益計算書の営業利益	145,056

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

以上